

平成24年度

# 福島県の一般廃棄物処理の状況

(平成25年3月末現在)



リーフィンクル

福島県ごみ減量化・リサイクル推進マスコットキャラクター

福島県生活環境部  
一般廃棄物課

## 目 次

第1編 本編 .....	1
1 福島県の一般廃棄物処理について .....	2
(1) 平成24年度一般廃棄物処理事業の概要 .....	2
(2) 福島県廃棄物処理計画 .....	4
2 福島県のごみ処理の状況 .....	6
(1) ごみの排出量について .....	6
(2) ごみの分別数の状況について .....	11
(3) ごみの処理状況について .....	12
(4) リサイクル率・資源化率について .....	14
(5) 最終処分場埋立量について .....	16
3 福島県のし尿処理の状況 .....	18
(1) 水洗化の状況について .....	18
(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について .....	18
(3) 浄化槽の設置状況について .....	21
第2編 統計データ編 .....	23
1 平成24年度廃棄物処理事業経費 .....	24
2 平成24年度廃棄物処理事業委託・許可件数 .....	30
3 平成24年度廃棄物処理業者及び従業員の状況 .....	31
4 平成24年度ごみ処理の概要 .....	32
5 平成24年度ごみ搬入量の内訳 .....	36
6 平成24年度ごみ処理量の内訳 .....	43
7 平成24年度資源化量の内訳 .....	46
8 平成24年度ごみ処理手数料の状況（生活系） .....	50
9 平成24年度ごみ処理手数料の状況（事業系） .....	58
10 平成24年度ごみの収集運搬体制の状況（生活系） .....	66
11 平成24年度ごみの収集運搬体制の状況（事業系） .....	76
12 市町村におけるごみ減量化推進体制整備状況 .....	86
13 市町村における生ごみ処理機（コンポスト容器も含む）普及促進策 .....	87
14 住民団体等による集団回収への援助措置実施状況 .....	90
15 平成24年度一般廃棄物処理施設整備事業一覧（国費による助成事業） .....	91
16 平成24年度水洗化人口等の状況 .....	92
17 平成24年度し尿処理の状況 .....	94
第3編 資料編 .....	97
1 一般廃棄物処理施設の状況 .....	98
2 環境美化条例等制定状況 .....	112
3 市町村廃棄物関係担当課一覧 .....	114
4 一部事務組合一覧 .....	116

# 第1編 本編

1 福島県の一般廃棄物処理について

(1) 平成24年度一般廃棄物処理事業の概要

ア 計画処理区域

平成24年10月1日現在の福島県の人口は1,979,964人で、ごみ処理及びし尿処理ともに県全域(13,782.75km<sup>2</sup>)が処理区域となっています。

一般廃棄物処理事業は、市町村及び一部事務組合により行われており、平成25年3月31日現在では、13市31町15村の59市町村、13組合となっています。

イ 一般廃棄物処理事業経費

平成24年度の市町村における一般廃棄物処理事業費は約253億円で、前年度(約245億円)と比較すると約3.1%増加しています。

表-1 平成24年度一般廃棄物処理事業費 (単位:千円)

廃棄物処理事業経費	ごみ処理経費 21,052,093			し尿処理経費 4,226,774		
	建設改良費	処理及び維持管理費	その他	建設改良費	処理及び維持管理費	その他
25,278,867 (24,519,185)	1,650,126 (2,165,024)	18,562,074 (18,005,927)	839,893 (341,086)	488,461 (212,957)	3,470,123 (3,570,603)	268,190 (223,588)

(注)建設改良費:施設の建設や改良に係る工事費、調査費

処理及び維持管理費:通常の処理に係る人件費、処理費、修繕費、車両等購入費

( )の数値は平成23年度実績

ウ 一般廃棄物処理業者数等の状況

平成24年度末現在のごみ処理及びし尿処理を委託又は許可をしている業者数は607、その従業員数は4,896人となっており、前年度と比較すると、業者数・従業員数とも大きく減少しています。

表-2 平成24年度一般廃棄物処理業者数等

県内に主たる事務所を有する事業者				従業員数(人)			
総数	ごみ専業	し尿専業	兼業	合計	収集運搬	中間処理	最終処分
607 (644)	487 (550)	94 (118)	26 (24)	4,896 (5,101)	4,213 (4,382)	686 (716)	12 (12)

(注1)( )内は平成23年度実績

(注2)従業員数は、業務の兼務により内訳と合計数が一致しません。

エ 一般廃棄物処理施設設置状況

平成24年度末における稼働中の一般廃棄物処理施設は112施設で、ごみ処理施設が65施設、し尿処理施設が25施設、一般廃棄物最終処分場が22施設

となっており、それぞれの施設整備に当たっては、主に循環型社会形成推進交付金（平成16年度以前は廃棄物処理施設整備費国庫補助金）が活用されています。

表-3 一般廃棄物処理施設設置状況 (平成24年度末現在)

施設種類		施設数	施設能力
ごみ処理施設	ごみ焼却施設	23	3,006 (t/日)
	粗大ごみ処理施設	14	490 (t/日)
	資源化施設	27	333.0 (t/日)
	小計	64	
し尿処理施設	し尿処理施設	23	2,106 (kℓ/日)
	コミュニティプラント	2	計画処理人口5,540人
	小計	25	
一般廃棄物最終処分場		22	残余容量 1,260千㎡ 残余年数 14.6年
合計		111	

(注) 残余年数は、残余容量を平成24年度の埋立容量実績(覆土を含む)で除したものの。

オ 一般廃棄物処理手数料の徴収状況

ごみ処理の有料化状況については、資源ごみを除き4割以上の市町村において、また、事業系ごみは9割近くの市町村で有料化が図られています。

また、し尿及び浄化槽汚泥の処理については、収集を行っているすべての市町村(委託を含む)で有料化されています。

表-4 平成24年度ごみ処理有料化の状況

種 類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
可燃ごみ		27 (45.8%)	51 (86.4%)
不燃ごみ		27 (45.8%)	49 (83.1%)
資源ごみ	紙 (紙パック、紙製容器包装を除く)	0 (0.0%)	15 (25.4%)
	紙パック	0 (0.0%)	15 (25.4%)
	紙製容器包装	4 (6.8%)	15 (25.4%)
	金属	14 (23.7%)	19 (32.2%)
	ガラス	13 (22.0%)	20 (33.9%)
	ペットボトル	13 (22.0%)	20 (33.9%)
	白色トレイ	14 (23.7%)	21 (35.6%)
	容器包装プラスチック	14 (23.7%)	20 (33.9%)
	プラスチック (白色トレイ、容器包装プラスチックを除く)	10 (16.9%)	13 (22.0%)
	布類	0 (0.0%)	5 (8.5%)
	生ごみ	0 (0.0%)	1 (1.7%)
その他	1 (1.7%)	2 (3.4%)	
その他収集ごみ		2 (3.4%)	5 (8.5%)
粗大ごみ		23 (39.0%)	32 (54.2%)

(注1)割合の分母は平成24年度末現在の市町村数で59です。

(注2)資源ごみの「その他」は、再資源化を目的として収集されるもののうち、他の品目に分類できないものを指し、具体的には剪定枝や廃食油等です。

(注3)「その他収集ごみ」は他の種類に分類できないごみであり、「有害ごみ」や「危険ごみ」などがあります。

表-5 平成24年度し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の状況(単位:市町村数)

種 類	有 料		無 料
	従量・回数制	定額制	
し 尿	39 (66.1%)	5 (8.5%)	0
浄化槽汚泥	40 (67.8%)	4 (6.8%)	0

(注)割合の分母は平成24年度末現在の市町村数で59です。(他13市町村では、非委託許可業者により、し尿及び浄化槽汚泥の汲み取りが実施されています。)

## (2) 福島県廃棄物処理計画

「福島県廃棄物処理計画」については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、平成14年3月に策定、平成18年3月に見直しを行った後、地球温暖化対策にも配慮した循環型社会形成の取組みを強化していくという基本的な考えの下、平成22年度に平成23年度以降の新たな廃棄物処理計画を策定しました。

ア ごみ処理に関する課題

- ①ごみ排出量の減量、再生利用の推進、最終処分量の更なる削減が必要です。
- ②ごみ処理施設について、既存処理施設の更新時期等を考慮し、計画的かつ効率的な施設整備の推進が必要です。
- ③ごみの不法投棄防止、在宅医療廃棄物や災害廃棄物の適正処理等への対策を進める必要があります。

イ 基本方針

一般廃棄物に関する課題を踏まえ、次の3つの事項を施策の基本方針として取り組んでいくこととします。

- |                              |
|------------------------------|
| ①ごみの発生抑制、再生利用の推進、最終処分量の削減の推進 |
| ②ごみ処理施設の効率的な整備及び適切な維持管理の促進   |
| ③ごみの適正処理の推進                  |

ウ ごみ減量化・リサイクルの目標値（平成27年度における目標値）  
県民に分かりやすい目標指標として次のように目標値を設定しました。

①1人1日当たりのごみの排出量	915g/人・日
②リサイクル率	26%
③1日当たりの最終処分量	200t/日

エ 目標達成のための推進施策

目標を達成するため、次の施策の推進を図ることとします。

①ごみの発生抑制、再生利用の推進、最終処分量の削減の推進

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○意識啓発の推進</li><li>○日常生活での取組の推進（マイバッグ、生ごみの減量化など）</li><li>○集団回収の促進</li><li>○リサイクル製品の使用促進</li><li>○ごみ処理有料化の取組促進</li></ul> |
|---|

②ごみ処理施設の効率的な整備及び適切な維持管理の促進

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○計画的かつ効率的なごみ処理施設整備の促進</li><li>○廃棄物系バイオマス利活用のための施設設置の促進</li></ul> |
|--|

### ③ごみの適正処理の推進

- 在宅医療廃棄物処理対策の促進
- 災害廃棄物の適正処理の促進

## 2 福島県のごみ処理の状況

平成24年度のごみ処理の状況は次のとおりです。

### 1 ごみの排出量

#### (1) 排出量

**790,574 (t/年)** 【前年度 782,473 t/年】

前年度と比較すると 8,101 t 増加しています。

#### (2) 1人1日当たりの排出量 【目標値 915 g/人・日】

**1,094 (g/人・日)** 【前年度 1,068 g/人・日】

前年度と比較すると 26 g 増加しています。目標値と比較すると 179 g オーバーしています。

### 2 リサイクル率

【目標値 26%】

**13.7 (%)**

【前年度 14.1%】

前年度と比較すると 0.4 ポイント減少しており、目標値との比較では 12.3 ポイント足りない状況です。

### 3 最終処分場埋立量

#### (1) 総埋立量

**89,946 (t/年)** 【前年度 104,259 t/年】

前年度と比較すると 14,313 t 減少しています。

#### (2) 1日当たりの埋立量 【目標値 200 t/日】

**246 (t/日)** 【前年度 285 t/日】

前年度と比較すると 39 t 減少しています。目標値と比較すると 46 t オーバーしています。

※1の(1)、(2)は、前年度に比べて増加していますが、これは、東日本大震災による影響が継続しているものと考えられます。

### (1) ごみの排出量について

平成24年度におけるごみの総排出量は 790,574 t で、1人1日当たりに換算すると 1,094 g となります。これを全国平均の 964 g と比較すると 130 g 多くなっています。

また、生活系・事業系に分類すると、生活系ごみが 568,147 t、事業系ごみが 222,427 t と、前年度と比較して、事業系ごみが量・割合とも増加しています。



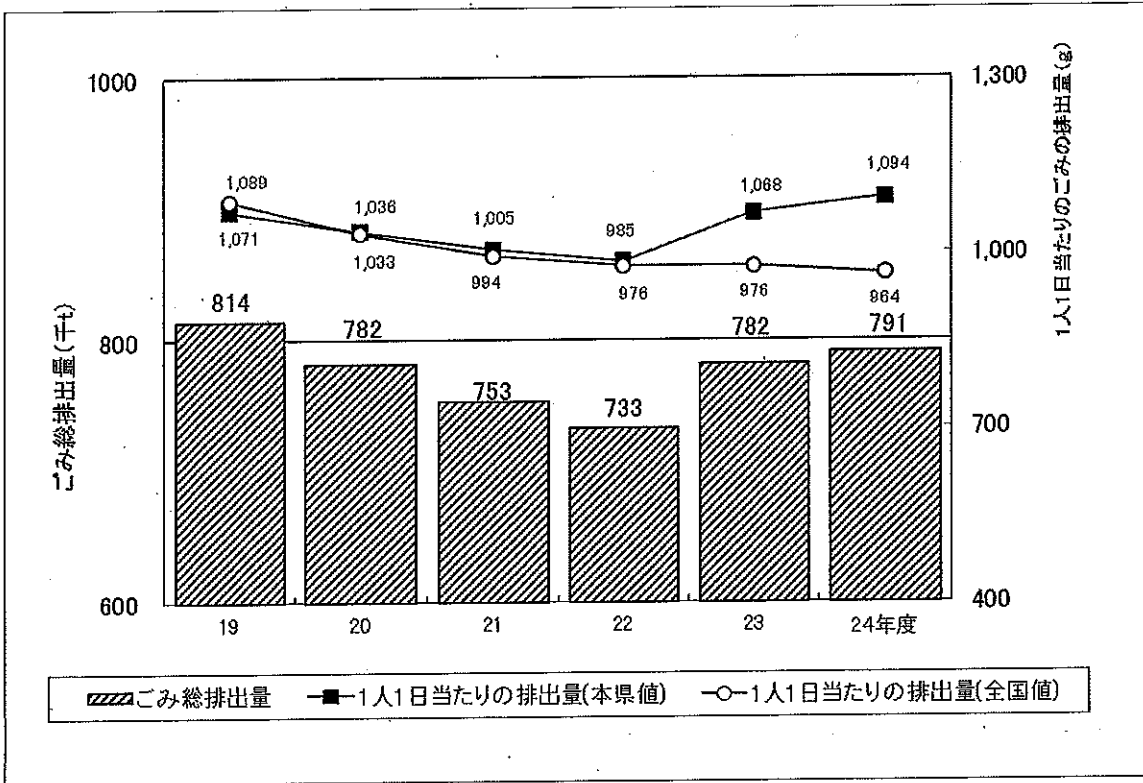


図-1 ごみの排出量の推移

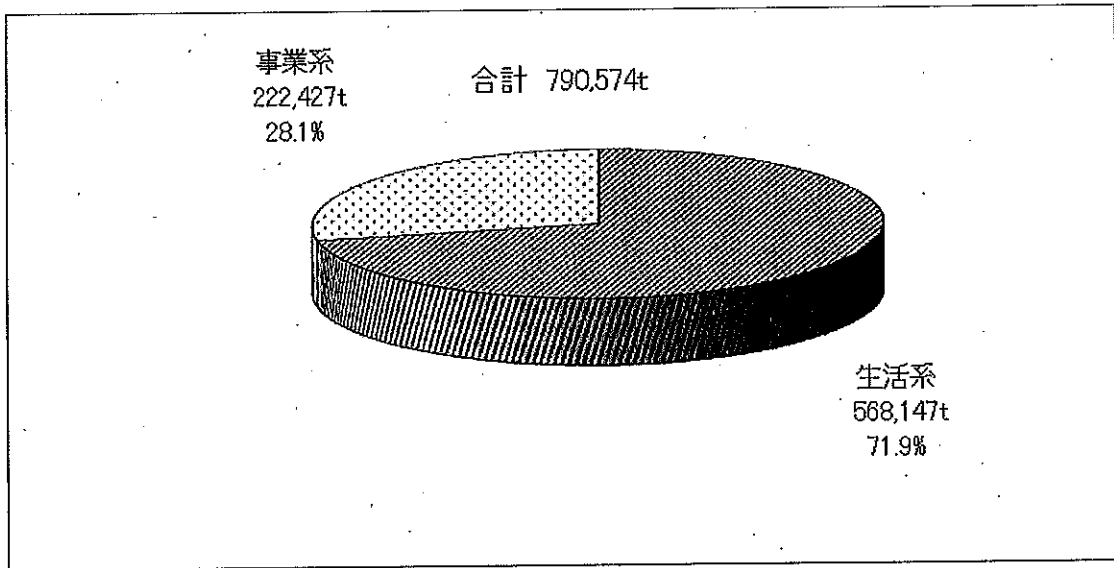


図-2 生活系ごみと事業系ごみの排出割合

○ 市町村別1人1日当たりのごみ排出量の状況

平成23年度と比較して、1人1日当たりのごみ排出量が減少した市町村のランキングは表-6のとおりです。

また、人口規模別の1人1日当たりのごみ排出量が少ない市町村のランキングは表-7のとおりです。

平成24年度は、昨年度大幅に排出量が増加した市町村において揺り戻しの動きが見られるものの、多くの市町村で排出量が増加する傾向にあります。

表-6 1人1日当たりのごみ排出量の対前年度比(単位:g)

順位	市町村名	対前年度比	H24年度	H23年度	順位	市町村名	対前年度比	H24年度	H23年度
1	鏡石町	-536	886	1,422	31	金山町	39	665	626
2	喜多方市	-377	888	1,265	32	泉崎村	39	636	597
3	天栄村	-365	849	1,213	33	矢吹町	40	826	786
4	須賀川市	-236	1,167	1,403	34	二本松市	40	878	839
5	只見町	-189	980	1,168	35	田村市	43	774	731
6	国見町	-135	1,007	1,142	36	三春町	45	1,002	957
7	昭和村	-119	756	875	37	矢祭町	46	623	577
8	飯籠村	-104	22	126	38	いわき市	47	1,155	1,108
9	柳津町	-79	658	737	39	小野町	50	800	749
10	三島町	-55	782	837	40	郡山市	56	1,454	1,398
11	桑折町	-45	1,117	1,162	41	檜枝岐村	62	1,300	1,238
12	猪苗代町	-30	1,111	1,141	42	新地町	69	720	651
13	相馬市	-20	999	1,019	43	伊達市	70	1,072	1,003
14	古殿町	-14	706	719	44	南会津町	72	1,147	1,074
15	磐梯町	-5	913	919	45	玉川村	77	782	705
16	葛尾村	2	16	14	46	下郷町	85	1,049	964
17	本宮市	8	1,015	1,007	47	北塩原村	94	1,068	974
18	鮫川村	11	465	454	48	福島市	98	1,277	1,179
19	棚倉町	12	970	958	49	川俣町	112	1,140	1,027
20	西郷村	13	882	868	50	湯川村	116	760	644
21	西会津町	14	805	791	51	南相馬市	174	947	773
22	白河市	15	926	911	52	大玉村	181	1,072	891
23	会津若松市	16	1,178	1,162	53	川内村	346	476	132
24	浅川町	21	793	772	54	広野町	627	1,053	425
25	会津坂下町	24	829	805		楢葉町	-2	0	2
26	中島村	27	488	462		富岡町	0	0	0
27	塙町	34	966	933		大熊町	0	0	0
28	平田村	35	624	589		双葉町	0	0	0
29	石川町	36	848	812		浪江町	0	0	0
30	会津美里町	37	932	895					
					※		汚染廃棄物対策指定地域		
					※		一部汚染廃棄物対策地域		

(注1) 対前年度比の数値は各年度の小数点第1位以下も含めたごみ排出量の差のため数値が合わない場合があります。

(注2) 対前年度比の数値が同じ場合の順位付けは端数により行っています。

表一 7 1人1日当たりのごみの排出量 (単位: g)

(1) 人口5万人以上  
(10市)

順位	市町村名	排出量
1	二本松市	878
2	喜多方市	888
3	白河市	926
4	南相馬市	927
5	伊達市	1,072
6	いわき市	1,155
7	須賀川市	1,167
8	会津若松市	1,178
9	福島市	1,277
10	郡山市	1,454
	平均	1,205

(3) 人口5千人~1万人未満  
(17町村)

順位	市町村名	排出量
1	飯館村	722
2	中島村	488
3	矢祭町	623
4	平田村	624
5	泉崎村	636
6	古殿町	706
7	新地町	720
8	玉川村	782
9	浅川町	793
10	西会津町	805
11	天栄村	849
12	埴町	966
13	下郷町	1,049
14	広野町	1,053
15	大玉村	1,072
	檜葉町	0
	双葉町	0
	平均	667

(5) 全市町村  
(59市町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	16
2	飯館村	22
3	鮫川村	465
4	川内村	476
5	中島村	488
6	矢祭町	623
7	平田村	624
8	泉崎村	636
9	柳津町	658
10	金山町	665
11	古殿町	706
12	新地町	720
13	昭和村	756
14	湯川村	760
15	田村市	774
16	三島町	782
17	玉川村	782
18	浅川町	793
19	小野町	800
20	西会津町	805
21	矢吹町	826
22	会津坂下町	829
23	石川町	848
24	天栄村	849
25	二本松市	878
26	西郷村	882
27	鏡石町	886
28	喜多方市	888
29	磐梯町	913
30	白河市	926
31	会津美里町	932
32	南相馬市	927
33	埴町	966
34	棚倉町	970
35	只見町	980
36	相馬市	999
37	三春町	1,002
38	国見町	1,007
39	本宮市	1,015
40	下郷町	1,049
41	広野町	1,053
42	北塩原村	1,068
43	伊達市	1,072
44	大玉村	1,072
45	猪苗代町	1,111
46	桑折町	1,117
47	川俣町	1,140
48	南会津町	1,147
49	いわき市	1,155
50	須賀川市	1,167
51	会津若松市	1,178
52	福島市	1,277
53	檜枝岐村	1,300
54	郡山市	1,454
	浪江町	0
	富岡町	0
	大熊町	0
	檜葉町	0
	双葉町	0
	平均	1,094

(2) 人口1万人~5万人未満  
(20市町村)

順位	市町村名	排出量
1	田村市	774
2	小野町	800
3	矢吹町	826
4	会津坂下町	829
5	石川町	848
6	西郷村	882
7	鏡石町	886
8	会津美里町	932
9	棚倉町	970
10	相馬市	999
11	三春町	1,002
12	国見町	1,007
13	本宮市	1,015
14	猪苗代町	1,111
15	桑折町	1,117
16	川俣町	1,140
17	南会津町	1,147
	浪江町	0
	富岡町	0
	大熊町	0
	平均	834

(4) 人口5千人未満  
(12町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	16
2	鮫川村	465
3	川内村	476
4	柳津町	658
5	金山町	665
6	昭和村	756
7	湯川村	760
8	三島町	782
9	磐梯町	913
10	只見町	980
11	北塩原村	1,068
12	檜枝岐村	1,300
	平均	740

※ 汚染廃棄物対策指定地域  
※ 一部汚染廃棄物対策地域

【参考】

全国平均 964g/人・日

- 1位 徳島県神山町 253.0g/人・日
- 2位 奈良県野迫川村 253.4g/人・日
- 3位 長野県川上村 289.3g/人・日

(注) 太字は、生活系可燃ごみの有料化を実施している27市町村

○ 有料化の実施とごみ排出量の関係について

本県では、生活系可燃ごみの有料化は20市町村で実施されていますが、ごみ処理有料化の実施とごみの排出量の関係については、表-8のとおり、生活系可燃ごみの有料化を実施している市町村は未実施の市町村に比べ、1人1日当たりのごみ排出量(平均)が344g(29.1%)少なくなっています。

また、人口区分ごとにみても、同様の傾向となっています。(有料化実施市町村は、表7の太字部分及び第2編統計データ編「8 平成24年度ごみ処理手数料の状況(生活系)」を参照。)

表-8 有料化の実施の有無による1人1日当たりのごみ排出量  
(単位:g)

	有料化実施	有料化未実施	差
排出量	840 (20)	1,184 (32)	-344
人口50,000人以上の市町村の排出量	926 (1)	1,217 (9)	-291
人口10,000～50,000人の市町村の排出量	854 (8)	1,031 (9)	-177
人口5,000～10,000人の市町村の排出量	752 (9)	900 (5)	-148
人口5,000人未満の市町村の排出量	470 (2)	852 (9)	-382

(注1)( )内は市町村数

(注2)原発事故による避難のためごみの排出がない又は原発事故の影響でごみの排出量が事故前と比較して大幅に減少している町村のデータを除く。

(2) ごみの分別数の状況について

各市町村においては、容器包装リサイクル法が平成9年度から本格施行されたことなどにより分別収集が進んできています。

平成24年度の状況は表-9のとおりであり、分別数は19区分から2区分までとなっています。

表-9. ごみの分別数の状況

分別数	市町村名	市町村数
19	二本松市、本宮市、大玉村	3
18	三春町	1
17	石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、会津坂下町、檜枝岐村	7
16	鏡石町、猪苗代町、会津美里町、南相馬市、飯舘村	5
15	国見町、田村市、小野町、天栄村、西会津町、磐梯町、檜葉町、新地町	8
14	伊達市、須賀川市、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、会津若松市、下郷町、南会津町、柳津町、三島町、富岡町、いわき市	13
13	郡山市、桑折町、湯川村、北塩原村、只見町、浪江町	6
12	福島市、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町	6
11	川俣町、昭和村、相馬市	3
10	金山町	1
7	喜多方市、広野町、川内村	3
2	葛尾村	1
収集なし	大熊町、双葉町	2

(注1) 分別数とはごみを出す住民に対し市町村が求める分別の数。よって、例えばアルミ缶とスチール缶を同じ袋で一括して出させている場合には、その後にごみ処理施設で分別している場合でも、分別数は1と数えています。

(注2) 合併した市町で地域により分別数が異なる場合は、最も人口が多い地域の分別数を採用して集計しました。

(3) ごみの処理状況について

平成24年度のごみ処理フローは、次項の図-3のとおりです。

一般廃棄物処理施設で処理されたごみの総量は753,790 tで、このうち、直接焼却処理された量は641,444 t (85.1%)、粗大ごみ処理施設等での処理量は76,488 t (10.1%)となっています。

最終処分された量は89,946 tで、このうち、焼却等の中間処理後に最終処分された量が85,003 t (94.5%)、直接最終処分された量が4,943 t (5.5%)となっています。

総資源化量は107,401 tで、このうち、収集後に直接資源化された量が30,915 t (28.8%)、焼却施設や粗大ごみ処理施設等の廃棄物処理施設を経て資源化された量が45,169 t (42.0%)、集団回収量が31,317 t (29.2%)となっています。

処理人口等 (単位：千人)

処理系統図 (単位：t/年)

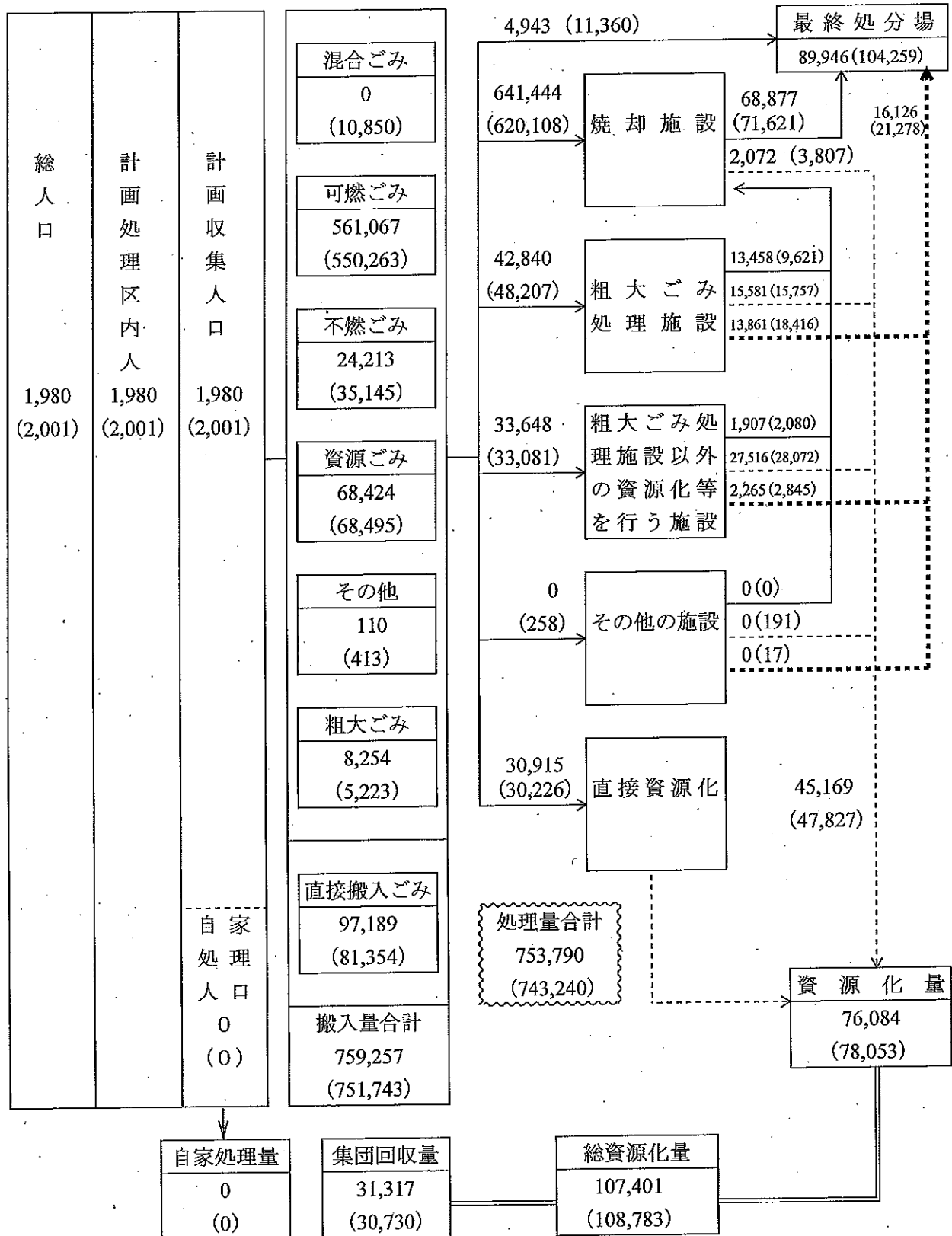


図-3 ごみ処理のフロー図

(注) ( ) 内は平成23年度の実績

前年度搬入分を処理するなどの理由により、搬入量と処理量は一致しません。

(4) リサイクル率・資源化率について

リサイクル率は、平成19年度から下降傾向となっており、前年度からは0.4ポイントの低下となっています。

資源化率も、リサイクル率と同様平成19年度から下降傾向となっており、こちらも前年度から0.4ポイントの低下となっています。

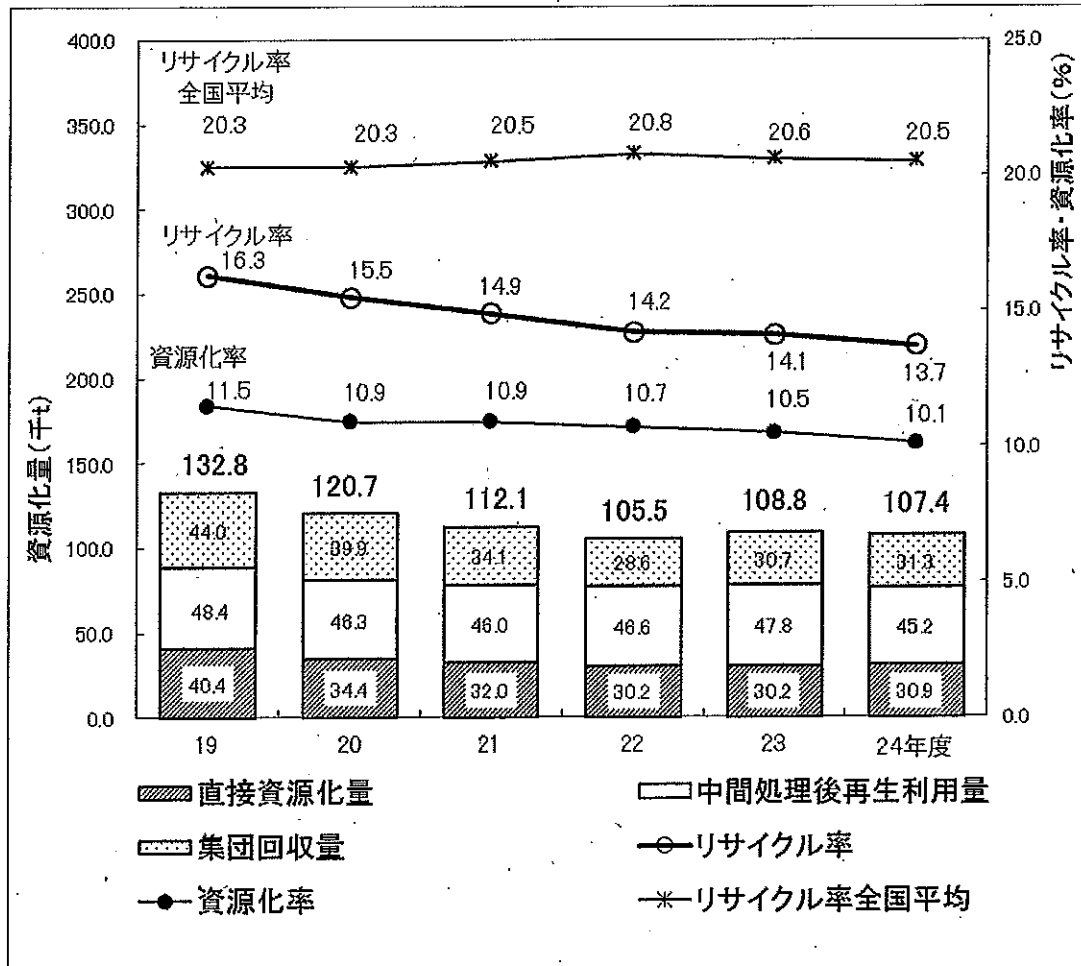


図-4 総資源化量とリサイクル率の推移

$$\text{資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量})$$

$$\text{総資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量}) + (\text{集団回収量})$$

$$\text{リサイクル率} = \frac{(\text{総資源化量})}{(\text{ごみ処理量}) + (\text{集団回収量})} \times 100$$

$$\text{資源化率} = \frac{(\text{資源化量})}{(\text{ごみ処理量})} \times 100$$



○ 市町村別リサイクル率の状況

人口規模別のリサイクル率の高い市町村のランキングは表-10のとおりです。

表-10 リサイクル率(単位:%)

(1) 人口5万人以上  
(10市)

順位	市町村名	リサイクル率
1	二本松市	17.7
2	会津若松市	16.5
3	いわき市	16.5
4	南相馬市	15.6
5	喜多方市	13.4
6	須賀川市	12.9
7	伊達市	12.5
8	福島市	12.0
9	郡山市	11.0
10	白河市	10.9
	平均	13.5

(3) 人口5千人~1万人未満  
(7(※)8町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	32.0
2	西会津町	18.2
3	新地町	16.9
4	天栄村	15.8
5	大玉村	15.0
6	下郷町	14.5
7	中島村	14.1
8	泉崎村	13.2
9	矢祭町	13.1
10	平田村	12.6
11	浅川町	12.1
12	玉川村	12.0
13	古殿町	11.6
14	塙町	10.1
15	広野町	3.2
-	檜葉町	-
-	双葉町	-
	平均	13.0

(5) 全市町村  
(59市町村)



順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	32.0
2	三春町	21.4
3	田村市	19.5
4	檜枝岐村	19.4
5	本宮市	19.2
6	小野町	18.9
7	西会津町	18.2
8	二本松市	17.7
9	猪苗代町	17.7
10	湯川村	16.9
11	新地町	16.9
12	会津若松市	16.5
13	いわき市	16.5
14	会津坂下町	16.2
15	天栄村	15.8
16	鏡石町	15.7
17	南相馬市	15.6
18	桑折町	15.6
19	国見町	15.2
20	大玉村	15.0
21	昭和村	14.9
22	鮫川村	14.9
23	西郷村	14.8
24	会津美里町	14.7
25	下郷町	14.5
26	中島村	14.1
27	三島町	13.8
28	相馬市	13.8
29	喜多方市	13.4
30	只見町	13.2
31	泉崎村	13.2
32	矢祭町	13.1
33	須賀川市	12.9
34	平田村	12.6
35	伊達市	12.5
36	浅川町	12.1
37	玉川村	12.0
38	福島市	12.0
39	矢吹町	11.7
40	古殿町	11.6
41	石川町	11.1
42	郡山市	11.0
43	白河市	10.9
44	南会津町	10.6
45	塙町	10.1
46	棚倉町	10.0
47	川内村	8.9
48	川俣町	8.0
49	柳津町	6.8
50	金山町	5.8
51	磐梯町	5.1
52	広野町	3.2
53	北塩原村	3.1
54	葛尾村	0.0
-	檜葉町	-
-	富岡町	-
-	大熊町	-
-	双葉町	-
-	浪江町	-
	平均	13.7

(2) 人口1万人~5万人未満  
(20(※)9市町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	三春町	21.4
2	田村市	19.5
3	本宮市	19.2
4	小野町	18.9
5	猪苗代町	17.7
6	会津坂下町	16.2
7	鏡石町	15.7
8	桑折町	15.6
9	国見町	15.2
10	西郷村	14.8
11	会津美里町	14.7
12	相馬市	13.8
13	矢吹町	11.7
14	石川町	11.1
15	南会津町	10.6
16	棚倉町	10.0
17	川俣町	8.0
-	浪江町	-
-	富岡町	-
-	大熊町	-
	平均	15.2

(4) 人口5千人未満  
(12町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	檜枝岐村	19.4
2	湯川村	16.9
3	昭和村	14.9
4	鮫川村	14.9
5	三島町	13.8
6	只見町	13.2
7	川内村	8.9
8	柳津町	6.8
9	金山町	5.8
10	磐梯町	5.1
11	北塩原村	3.1
12	葛尾村	0.0
	平均	10.3

※  汚染廃棄物対策指定地域  
 ※  一部汚染廃棄物対策地域

【参考】

全国ベスト3

1位	鹿児島県大崎町	79.2%
2位	鹿児島県志布志市	74.9%
3位	福岡県須恵町	64.1%

(5) 最終処分場埋立量について

平成24年度の最終処分量は89.9千tと減少しており、前年度の104.3千tと比較すると14.4千t減少しています。(1日当たりでは39.3tの減少)

また、直接最終処分量も4.9千tと減少しており、前年度の11.4千tと比較すると6.4千tの減少となっています。

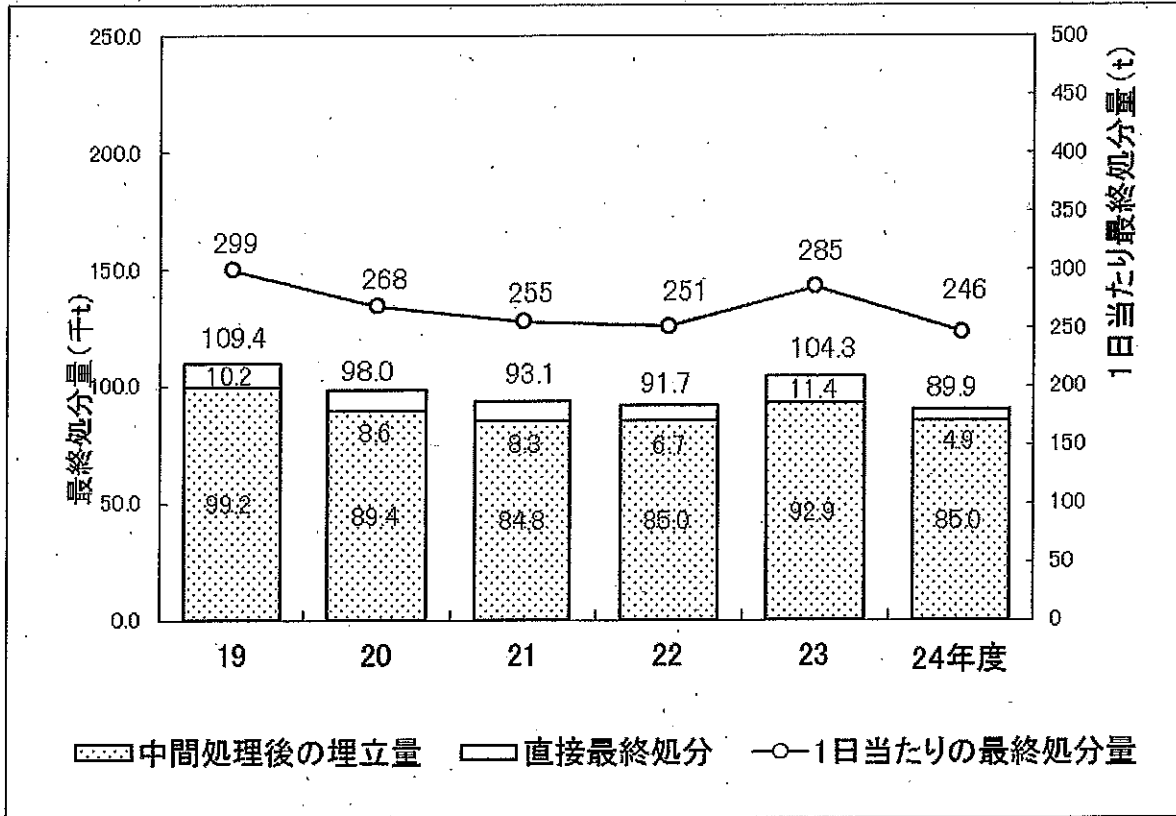


図-5 最終処分量と1日当たりの最終処分量の推移

表-11 ごみ処理の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
a 総人口(人)	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	1,979,964	
b 計画処理区域内人口(人)	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	1,979,964	
c 計画収集人口(人)	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	1,979,964	
d 自家処理人口(人)	0	0	0	0	0	0	
e ごみ処理事業経費(千円)	25,189,553	20,257,782	19,143,535	18,581,156	20,512,037	21,052,093	
f 建設改良費(千円)	6,806,779	2,170,532	577,081	997,256	2,165,024	1,650,126	
g 処理及び施設維持管理経費(千円)	17,634,789	17,390,521	17,861,949	17,154,952	18,005,927	18,562,074	
h その他(千円)	747,985	696,729	704,505	428,948	341,086	839,893	
i 1人当たりの処理事業経費(円)	12,130	9,804	9,328	9,111	10,250	10,633	
j 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	8,492	8,417	8,704	8,412	8,998	9,375	
k 1t当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	22,837	23,486	24,918	23,958	24,226	24,625	
l ごみ総排出量(t/年)	813,723	781,583	753,095	733,364	782,473	790,574	
m 1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,071	1,036	1,005	985	1,068	1,094	
n 計画収集量(t/年)	769,716	741,643	718,971	704,728	751,743	759,257	
o 収集ごみ量(t/年)	705,338	680,404	659,101	646,441	670,389	662,088	
p 直接搬入量(t/年)	64,378	61,239	59,870	58,287	81,354	97,189	
q 生活系ごみ搬入量(t/年)	535,651	522,288	511,511	507,333	549,636	536,830	
r 事業系ごみ搬入量(t/年)	234,065	219,355	207,460	197,395	202,107	222,427	
s 自家処理量(t/年)	0	0	0	0	0	0	
t ごみ処理量(t/年)	772,209	740,461	716,832	716,037	743,240	753,790	
u 直接焼却量(t/年)	645,545	625,953	609,416	609,443	620,108	641,444	
v 直接埋立量(t/年)	10,185	8,572	8,274	6,678	11,360	4,943	
w 資源化等の中間処理量(t/年)	76,079	71,489	67,182	69,626	81,546	76,488	
x 直接資源化量(t/年)	40,400	34,447	31,960	30,290	30,226	30,915	
y 資源化量(t/年)	88,817	80,712	77,988	76,867	78,053	76,084	
z 集団回収量(t/年)	44,007	39,940	34,124	28,636	30,730	31,317	
aa 資源化率(%)	11.5	10.9	10.9	10.7	10.5	10.1	
ab リサイクル率(%)	16.3	15.5	14.9	14.2	14.1	13.7	
ac 1日当たりの最終処分量(t/日)	299	268	255	251	285	246	
全国	1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,089	1,033	994	976	976	964
	資源化率(%)	15.2	15.2	15.4	15.7	15.5	15.5
	リサイクル率(%)	20.3	20.3	20.5	20.8	20.6	20.5

(注) i=(e/b)×1,000

j=(g/b)×1,000

k=(g/t)×1,000

l=n+z

m=(l/b/365)×1,000,000 ※平成19年度及び平成23年度は「365」を「366」として計算した。

n=q+r

aa=(y/t)×100

ab=(y+z)/(t+z)×100

### 3 福島県のし尿処理の状況

#### (1) 水洗化の状況について

平成24年度の水洗化率は88.2%で、うち下水道による水洗化率は44.4%、浄化槽及びコミュニティプラント（コミプラ）による水洗化率は43.8%（うち合併処理浄化槽による水洗化率は24.3%）となっています。（P20参照）

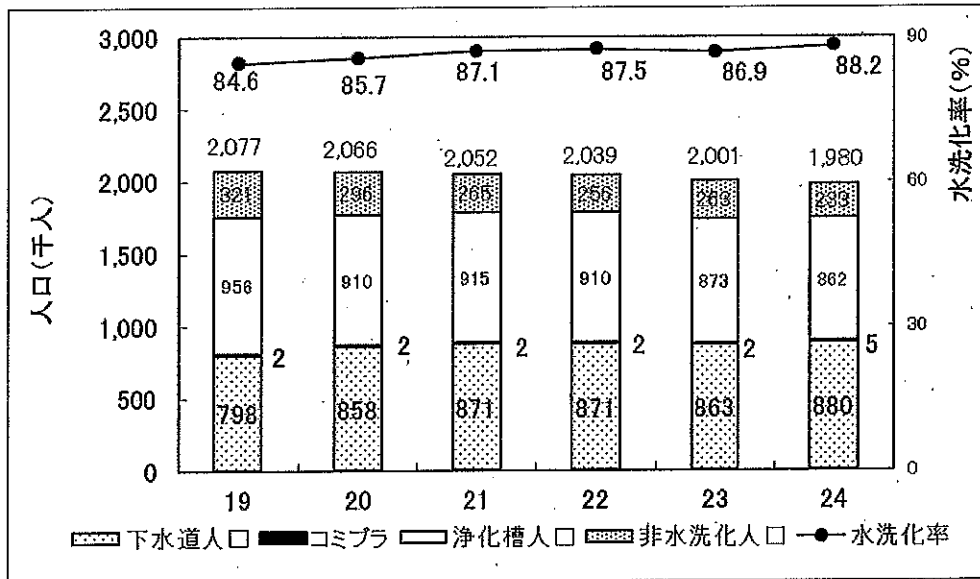


図-6 水洗化人口等の推移

#### (2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について

平成24年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は587,739 kℓで、前年度の584,628 kℓと比較すると3,111 kℓ増加しています。

また、処理方式別に見ると、し尿処理施設等における処理量は535,551 kℓ（91.1%）、下水道投入等が51,899 kℓ（8.8%）、自家処理量が289 kℓ（0.1%）となっています。し尿処理施設の復旧に伴いし尿処理施設等における処理量が回復傾向にあります。

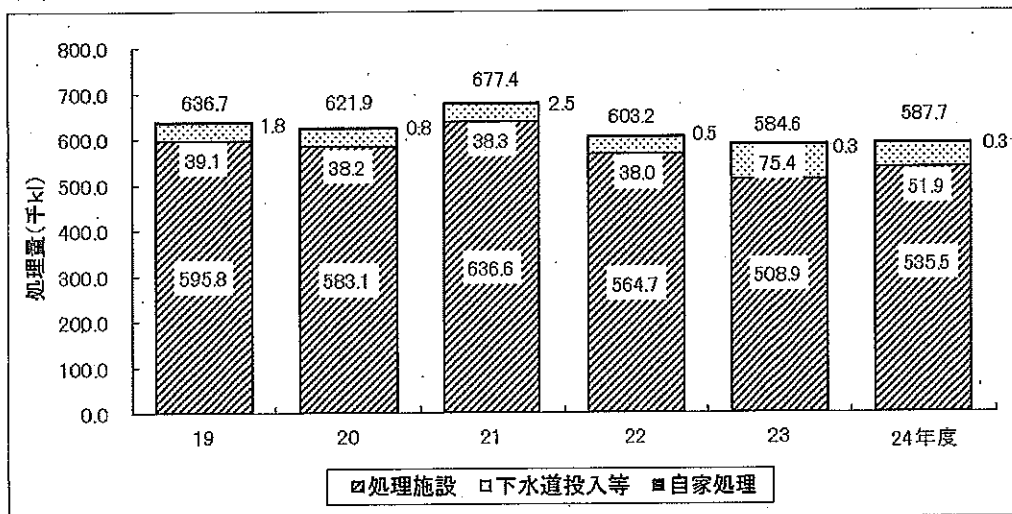


図-7 し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

処理人口等 (単位：千人)

処理系統図 (単位：kℓ/年)

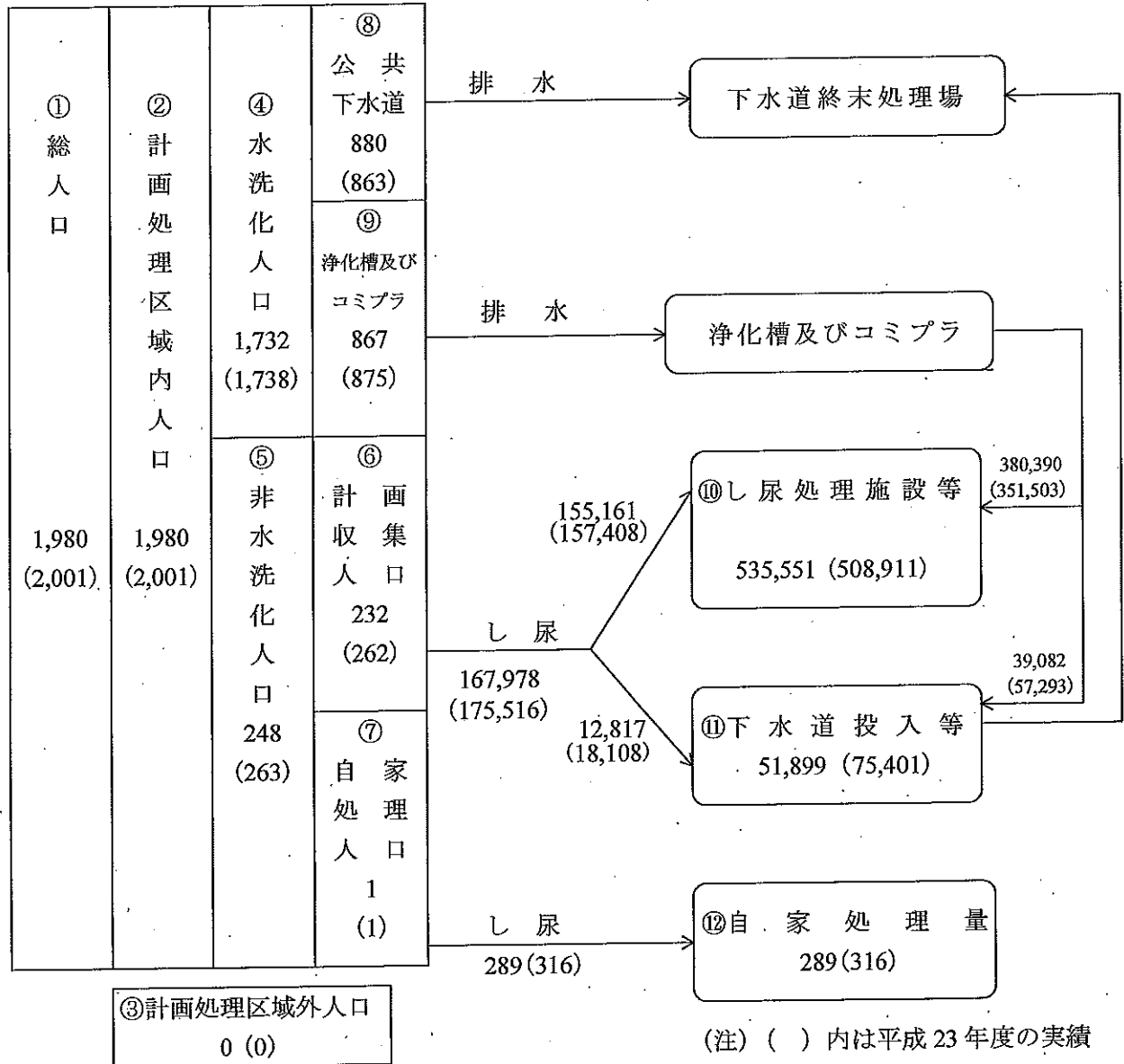


図-8 し尿処理のフロー図

表-12 し尿処理の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
a 総人口(人)①	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	1,979,964
b 計画処理区域内人口(人)②	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	1,979,964
c 水洗化率(%)	84.6	85.7	87.1	87.5	86.9	88.2
d 水洗化人口(人)④	1,755,857	1,770,060	1,787,668	1,783,469	1,738,459	1,747,303
e 公共下水道人口(人)⑧	797,919	857,566	870,655	871,038	863,659	879,940
f コミュニティプラント人口(人)⑨	2,420	2,426	2,609	2,627	2,631	5,249
g 浄化槽人口(人)⑩	955,518	910,068	914,404	909,804	872,169	862,114
h 合併処理浄化槽人口(人)	479,941	471,222	490,624	488,291	450,388	481,306
i 非水洗化率(%)	15.4	14.3	12.9	12.5	13.1	11.8
j 非水洗化人口(人)⑤	320,766	296,162	264,514	255,876	262,743	232,661
k 計画収集人口(人)⑥	319,162	294,666	263,256	254,654	261,861	231,709
l 自家処理人口(人)⑦	1,604	1,496	1,258	1,222	882	952
m 計画処理区域内のし尿排出量(kl/年)	636,738	621,974	677,407	603,235	584,628	587,551
n し尿処理量(kl/年)	636,738	621,974	677,407	603,235	584,628	587,739
o 計画処理量(t/年)	634,963	621,304	674,858	602,717	584,312	587,450
p し尿処理施設(kl/年)	594,275	583,090	636,587	564,705	508,911	535,551
q ごみ堆肥化施設(kl/年)	1,562	0	0	0	0	0
r 下水道投入(kl/年)	39,126	38,214	38,271	38,012	75,310	51,751
s 農地還元(kl/年)	0	0	0	0	9	0
t その他(kl/年)	0	0	0	0	82	148
u 自家処理量(kl/年)	1,775	670	2,549	518	316	289

(注)  $c = (d/b) \times 100$   
 $i = (j/b) \times 100$

(対総人口ベース)

計画区域率 ②/①=100.0%(100.0%)	公共下水道水洗化率 ⑧/①= 44.4%( 43.2%)
水洗化率 ④/①= 88.2%( 86.9%)	浄化槽及びびコミプラ水洗化率 ⑨/①= 43.8%( 43.7%)
非水洗化率 ⑤/①= 11.8%( 13.1%)	(対非水洗化人口)
計画収集率 ⑥/①= 11.7%( 13.1%)	計画収集率 ⑥/⑤= 99.6%( 99.7%)
自家処理率 ⑦/①= 0.0%( 0.0%)	自家処理率 ⑦/⑤= 0.4%( 0.3%)

(3) 浄化槽の設置状況について

新設浄化槽基数は表-13のとおり平成19年度以降は減少傾向でしたが、平成23年度から上昇に転じ、平成24年度は前年度の新規設置基数を51基上回り、4,434基（対前年度比101.1%）となっています。

また、浄化槽設置基数の推移については、次頁の図-9のとおり、平成14年度をピークに減少に転じており、その後平成17年度以降は横ばい傾向となっています。

平成24年度の浄化槽設置基数は268,107基で、そのうち単独処理浄化槽が168,618基と62%を占めています。

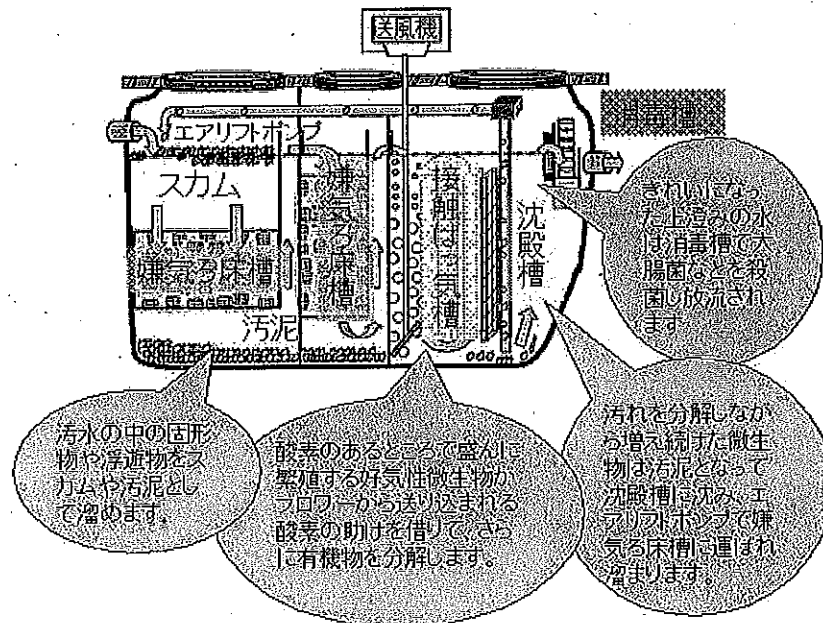
表-13 年度別新規設置基数

年度	19	20	21	22	23	24
基数	4,761	4,221	3,894	3,645	4,383	4,434

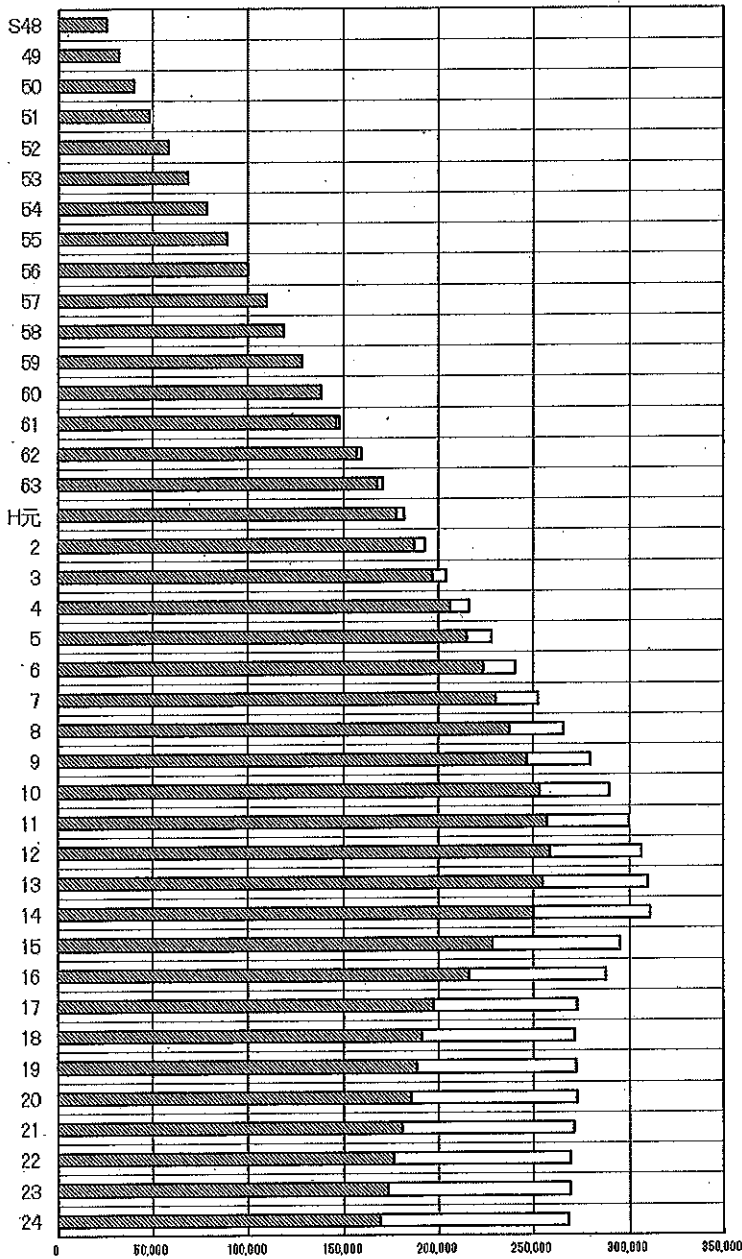
表-14 平成24年度末人槽別設置基数

人槽規模	5~20	21~100	101~200	201~500	501~	合計
基数	247,483	17,646	1,518	1,048	412	268,107

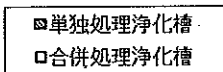
〈参考〉浄化槽のしくみ（嫌気ろ床接触ばっ気方式の例）



(年度)



(基数)



年度	单独処理浄化槽	合併処理浄化槽	合計
昭和48	25,460		25,460
49	32,182		32,182
50	40,186		40,186
51	48,330		48,330
52	58,369		58,369
53	68,776		68,776
54	78,329		78,329
55	88,769		88,769
56	100,090		100,090
57	109,812		109,812
58	118,967		118,967
59	128,446		128,446
60	138,273		138,273
61	145,912	2,046	147,958
62	156,964	2,372	159,336
63	167,651	2,953	170,604
平成元	177,978	4,064	182,042
2	187,183	5,430	192,613
3	196,843	7,339	204,182
4	206,038	9,735	215,773
5	214,787	13,242	228,029
6	222,965	17,419	240,384
7	230,299	22,023	252,322
8	237,607	27,917	265,524
9	246,635	32,455	279,090
10	253,293	36,483	289,776
11	257,421	42,022	299,443
12	259,037	47,355	306,392
13	255,162	54,694	309,856
14	250,030	60,957	310,987
15	228,431	66,518	294,949
16	215,641	72,275	287,916
17	196,915	75,480	272,395
18	190,947	80,266	271,213
19	187,916	84,262	272,178
20	184,988	87,271	272,259
21	180,519	90,508	271,027
22	176,165	92,821	268,986
23	173,160	96,139	269,299
24	168,618	99,489	268,107

図-9 浄化槽設置基数の推移